

保健室からの Message 臨時号

2022.6.9



長浜北星高校保健室

梅雨期、本校の廊下は滑りやすく危険

発達した積乱雲が次々と重なり豪雨をもたらす線状降水帯は梅雨期に発生しやすいですが、今年近畿圏はどうでしょうね。本校における梅雨期の危険因子は「校舎の老朽化に伴う結露発生による廊下の滑り易さ」を筆頭に挙げたいと思います。校舎出入り口に敷かれているゴムマットでスリッパ底の水分をこまめに拭き取ることで転倒防止に繋がると考えます。また廊下を走ることは絶対禁止です。きちんと対策し安心安全の中で梅雨期も充実した学校生活を送りましょう。



滋賀県における新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数については、連休後の一時的増加を除き緩やかな減少傾向にあるものの、県立学校においては連日複数名にわたる児童生徒および教職員の陽性判明が報告されています。

感染症対策の徹底については、この度、国および県対策本部においてマスク着用の基本的な考え方が示されました。

WITH マスク 若けてよし！外してよし！みんなよし！！
熱中症予防のためにも適切なマスク着用は控えましょう
無理なみなでお互いを尊重しながら暮らしましょう

マスクが不要な場面

- 屋外において他の方と十分な距離が取れる時
- 外出時に屋外ですれ違う程度
- 運動時（屋内外問わず）
- 未就学児（屋内外問わず）

マスクが必要な場面

- 換気が悪い場所
- 引き続きマスクが必要な場面
- 濃厚接触者に該当する時
- 対面で会話をする時
- 風邪症状のある時、風邪症状のある人と接する時
- 屋外であってもイベントなど大人数の時

※2m以上の十分な距離を確保し、マスクを着用しない場合は、保護者や関係の大人が子どもを十分に監視し、誘導をお願いします。
※接触を伴う活動の場合は、各競技団体が行っているマナーを守ってください。

滋賀県

感謝状

滋賀県立長浜北星高等学校 様

この度は、格別ご寄付いただいたコンタクトレンズの空ケース回収活動「アイレイト・ゼロプロジェクト」にご協力いただき誠にありがとうございました。
空ケースの回収代金は、ふたたび視力を保ち、視そうと願われる方々のために全額を、日本アイバンク協会へ寄付させていただきます。

2022年4月
コンタクトのアイレイト・ゼロプロジェクト

重量	個数
4,88kg	4,880個

● 今回ご提供いただいたコンタクトレンズ空ケース

● 日本アイバンク協会とは

① 公益 日本アイバンク協会は、視覚障害者とアイバンクの啓蒙、普及のために活動する公益法人です。
② 視覚障害者、視覚障害者支援活動の推進、視覚障害者の社会参加の促進
③ 視覚障害者支援活動に対する助成事業
④ アイバンクの普及と視覚障害者の社会参加の促進
⑤ 視覚障害者の社会参加の促進

コンタクトレンズケース送付に対する感謝状が届きました。日本アイバンク協会の方へ寄付されるとのことです。これはSDGsの取組の一環と考えています。引き続きご協力をお願いします。